

反権 三  
雑 三

他に開準準備中に要求書提出と同時に解決せしむの事件  
之を組合別に列挙する

- 関東労働組合(青澤準会) 二十一 (代表部準会) 年四精工準会
- 関東出版労働組合 七 国文社印刷前準会
- 関東金庫労働組合 二 建設社準会
- 関東地方評議会 一

(以上の代表部準会の詳細を報告は開準準備報告を参照せよ)

尚組合準備部は機械的ならぬ方法に於て絶えずその内を経済斗争と政治的斗争とを兼行せしめるべく努力し、これがための宣傳活動を行ひ、且つ国際のパンパネーの勤労行商を再求めず樹てたが、何れも二三の成功をみたり、全作として政治斗争は非常に不十分であつたことを率直に認めなければならぬ。この原因は教育運動と指導部の欠陥に依り、ことばの論議に、同時に、彼等の組織が未だ階級主義的に行つて居るだけ力を持つてゐない、且つ指導部も未だ左翼的組織の立場から、我々の特はこの点を十分に批判し、一日も早くこの欠陥を除去し、此れは自ら求むべきである。

### 二 組織

- 一 関東金庫労働組合 組織は 工場分会 五 地域分会 二  
昨年五月の大会当時 東京金庫の組織は 二 箱根準備会 五
- 二 印刷金庫の組織は 二 箱根準備会 五

また、打撃く強固な準備や莫大奮闘の準備や裏切者共の奮闘する準備等々の現在

は 工場分会 九 同準備会 三 地域分会 三 である。  
なほ去る六月二十四日両組合の合同を決定し、京決地方の大工場組織化の具体的方針を樹立して組合の拡大強化に全力を挙げてゐることだけは報告するにとどめる。

### 二 関東出版労働組合

一九三二年二月十六日旧労働党中部支部に所属せる出版関係の党員約三十名を以つて出版産業労働組合準備会を結成した。其の後着々アソビ口を通じて組織の拡大を計つてゐたが遂に一九三一年七月二十五日組合員約七十名を以つて創立大会を決定し名簿を関東出版労働組合と変更した。

創立大会後旧労働党中部支部青年部解散派の斗士が誤謬を清算して続々復帰加入し、相協力して大工場への動きかけを多数に大膽に実行した結果現在では、関東地方に於ける代表的印刷工場に三つの分会と二つの分会準備会を確立した。

その他の中小工場には三つの分会と五つの準備会を有し、組合員数約二百名が組合の拡大強化を目指して現在六ヶ月計画に依る組合員増加斗争を取行しつゝある。

### 三 関東労働組合

昨年夏大会当時の組織状態

- 現在 組合員数 五六八 工場分会数 一二 支部数 二 支部準備会 一
- 組合員数 二二七五 工場分会数 四五 支部数 二 産別支部 二
- 組合員数 二二七五 工場分会数 四五 支部数 二 地域支部 三
- 組合員数 二二七五 工場分会数 四五 支部数 二 準備会 一

去すび